

改訂日 19-7-2023

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品特定名

化学品の名称 品番	316 L-5520 111904
化学名又は一般名 CAS番号	鉄 7439-89-6
化学名又は一般名 CAS番号	クロム 7440-47-3
化学名又は一般名 CAS番号	ニッケル 7440-02-0
化学名又は一般名 CAS番号	モリブデン 7439-98-7
化学名又は一般名 CAS番号	マンガン 7439-96-5
化学名又は一般名 CAS番号	コバルト (合金) 7440-48-4
化学名又は一般名 CAS番号	銅 7440-50-8
化学物質・混合物の区別	混合物

## 安全データシートの供給者の詳細

Höganäs Belgium SA  
Ruelle Gros Pierre 10  
7800 Ath  
BELGIUM  
Telephone: + 32 68268989

コンタクト情報 Eメール  
SDS-info\_JP@hoganäs.com

ファックス番号  
+81 48 583 4610

## 化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	粉末冶金、表面塗装。
推奨されない用途	本製品に対して推奨される特定用途はない。

## 緊急連絡電話番号

緊急連絡先  
+32 68268989 (営業時間—中央ヨーロッパ時間帯CET中に限り利用可能)

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

呼吸器感作性	区分 1A
皮膚感作性	区分 1A
発がん性	区分 1B
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1

## ラベル要素



注意喚起語

危険

**危険有害性情報**

吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
発がんのおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

**注意書き****安全対策**

- ・使用前に取扱説明書を入手すること
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
- ・【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
- ・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと

**応急措置**

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと
- ・皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること

**保管**

- ・施錠して保管すること

**廃棄**

- ・内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

**他の危険有害性**

情報なし。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学的性質

合金

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	労働安全衛生法
鉄	7439-89-6	60 - 80	対象外	-	情報なし	
クロム	7440-47-3	15 - 20	対象外	-	情報なし	
ニッケル	7440-02-0	10 - 15	対象外	-	情報なし	
モリブデン	7439-98-7	1 - 4	対象外	-	情報なし	
マンガン	7439-96-5	1 - 4	対象外	-	情報なし	
コバルト(合金)	7440-48-4	< 0.3	対象外	-	情報なし	
銅	7440-50-8	<= 0.1	対象外	-	情報なし	

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質  
該当しない

毒物及び劇物取締法  
該当しない

## 4. 応急措置

### 必要とされる応急措置の説明

一般的なアドバイス	治療を行う医師にこのSDSを示すこと。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
吸入	アレルギー性呼吸器反応を起こすおそれ。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。空気の新鮮な場所に移すこと。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。直ちに医師の診察／手当てを受けること。
皮膚接触	石けん(鹼)と水で洗うこと。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。皮膚の炎症又はアレルギー性反応が認められる場合には、医師の診察を受けること。
眼接触	症状が続く場合には、医師に連絡すること。まぶた(瞼)の裏側まで多量の水でよく洗うこと。
経口	アレルギー性反応を起こすおそれ。無理に吐かせないこと。水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。直ちに医師の診察／手当てを受けること。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	医療者に物質の関与を伝え、自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。指定された個人用保護具を着用すること。詳細については項目8を参照。

### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状	吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。咳及び／又は喘鳴。掻痒感。発疹。じんま疹。
----	--

### 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項	過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。症状に応じて治療すること。
---------------	-----------------------------------

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

適切な消火剤	砂。金属火災用特殊粉末消火剤。乾燥塩化ナトリウム。
使ってはならない消火剤	水、泡消火剤又は二酸化炭素を使用してはならない。

### 特有の危険有害性

特別な危険有害性	ダストの生成を避ける。空気中に十分な量の微細ダストが分散し、着火源が存在すると粉じん爆発の危険がある。製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。吸入及び皮膚接触により感作を引き起こすことがある。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。ニッケル化合物。クロム酸化物。Molybdenum compounds。コバルト化合物。ホウ素酸化物。
危険有害性燃焼生成物	

### 消火を行う者に対する特有の保護措置

消火を行う者のための特別な保護具	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。
その他の情報	消火に使用した水が地表水系又は地下水系を汚染するのを防ぐこと。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置** 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。指定された個人用保護具を着用すること。人員を安全な区域に退避させること。人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。

**緊急対応を行う者のための保護具** 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

### 環境に対する注意事項

**環境に対する注意事項** 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

**封じ込め方法** 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

**浄化方法** 粉じんの発生を避けること。廃棄するために機械的にすくい取り、適切な容器に收容すること。

### 二次的危険有害性を防止するための予防措置

**二次災害の防止策** 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

**その他の情報** 項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

**参照すべき項目** セクション8、13に記載の保護措置を参照。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 安全な取扱いのための予防措置

**安全取扱注意事項** 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。放出が発生する場所には排気換気を設けること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

**混触禁止物質及び混合物に関する取扱注意事項** 詳細については項目10を参照。

**一般的な衛生注意事項** 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋及び眼／顔面保護具を着用する。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類及び手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること。休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。

### 混触禁止物質を含む、安全な保管条件

**安全な保管条件** 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。施錠して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理パラメーター

**設備対策** 特に密閉区域内では、十分な換気を確保すること。

### 許容濃度

化学名又は一般名	日本	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
クロム 7440-47-3	TWA: 0.5 mg/m <sup>3</sup>	-	TWA: 0.5 mg/m <sup>3</sup> inhalable particulate matter
ニッケル 7440-02-0	TWA: 1 mg/m <sup>3</sup>	-	TWA: 1.5 mg/m <sup>3</sup> inhalable particulate matter

モリブデン 7439-98-7	-	-	TWA: 10 mg/m <sup>3</sup> inhalable particulate matter TWA: 3 mg/m <sup>3</sup> respirable particulate matter TWA: 10 mg/m <sup>3</sup> Mo inhalable particulate matter TWA: 3 mg/m <sup>3</sup> Mo respirable particulate matter
マンガン 7439-96-5	TWA: 0.2 mg/m <sup>3</sup> TWA: 0.02 mg/m <sup>3</sup> TWA: 0.1 mg/m <sup>3</sup> I SHL/ACL: 0.2 mg/m <sup>3</sup>	0.2mg/m <sup>3</sup>	TWA: 0.02 mg/m <sup>3</sup> respirable particulate matter TWA: 0.1 mg/m <sup>3</sup> inhalable particulate matter TWA: 0.02 mg/m <sup>3</sup> Mn respirable particulate matter TWA: 0.1 mg/m <sup>3</sup> Mn inhalable particulate matter
コバルト (合金) 7440-48-4	TWA: 0.05 mg/m <sup>3</sup> I SHL/ACL: 0.02 mg/m <sup>3</sup>	0.02mg/m <sup>3</sup>	dermal sensitizer; respiratory sensitizer TWA: 0.02 mg/m <sup>3</sup> inhalable particulate matter TWA: 0.02 mg/m <sup>3</sup> Co inhalable particulate matter
銅 7440-50-8	-	-	TWA: 0.2 mg/m <sup>3</sup> fume

## 生物学的職業性ばく露限界値

該当しない

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	ACGIH
クロム 7440-47-3		0.7 µg/L - urine (Total chromium) - end of shift at end of workweek
ニッケル 7440-02-0		5 µg/L - urine (Nickel) - post-shift at end of workweek
コバルト (合金) 7440-48-4	3 µg/L - blood (Cobalt) - within 2 h prior to end of shift at end of work week 35 µg/L - urine (Cobalt) - within 2 h prior to end of shift at end of work week	15 µg/L - urine (Cobalt) - end of shift at end of workweek

## 適切な設備対策

## 環境ばく露防止

排気通風機からの粉じんは系外へ隔離し、自然環境への放出を避けること。

## 個人用保護具などの個人保護措置

## 呼吸用保護具

適切な呼吸用保護具を着用すること。

## 手の保護具

適切な手袋を着用する。

## 眼及び又は顔面の保護具

サイドシールド付き保護眼鏡 (又はゴーグル) を着用すること。

## 皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。

## 熱的危険有害性

情報なし。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 物理的及び化学的性質に関する情報

## 物理状態

固体

## 外観

うすい灰色の 微粉碎 金属 粉末。

## 色

灰色

## 臭い

無臭。

## 臭いのしきい値

該当しない

## 粒子サイズ

情報なし

## 特性

値

## pH

6.3 - 8.8

## 融点/凝固点

1538° C @ 1013hPa ° C

## 備考

水への低溶解度 (鉄)

沸点、初留点及び沸騰範囲	2861° C @ 1013hPa ° C	(鉄)
引火点	データなし	無機物質には関係しない
蒸発速度	該当しない	融点を持つ固体 >300° C
可燃性	引火性でない。	
空気中での可燃限界		
爆発又は可燃の上限界	情報なし	
爆発範囲の下限/可燃下限値	情報なし	
蒸気圧	該当しない	融点を持つ固体 >300° C
相対ガス密度	該当しない	融点を持つ固体 >300° C
相対密度	7,87g/cm <sup>3</sup> @ 20° C	(鉄)
水への溶解度	0,015 mg/l @ 22° C	(鉄)
溶解度	情報なし	
分配係数		無機/無生物
自然発火点		該当しない。
分解温度	該当しない	無機物質には関係しない
動粘性率	データなし	融点を持つ固体 >300° C
動的粘度	該当しない	
爆発性	爆発物ではない	
酸化特性	酸化しない	実用的な実験から得られた情報
<b>その他の情報</b>		
かさ密度	2,0-3,0 g/cm <sup>3</sup>	
微細片	情報なし	
粉塵爆発クラス	情報なし	
備考	データなし	
粒径	< 355 µm	

## 10 : 安定性及び反応性

反応性	通常の条件下で安定。
安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定。
避けるべき条件	熱、炎及び火花。
混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	通常の使用条件下ではない。
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし。
機械的衝撃に対する感度	なし。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
鉄	= 30 g/kg ( Rat )	-	-
クロム	> 3400 mg/kg	-	> 5.41 mg/l
ニッケル	> 9000 mg/kg ( Rat )	-	> 10.2 mg/L ( Rat ) 1 h
モリブデン	> 2000 mg/kg	> 2000 mg/kg ( Rat )	> 5.84 mg/L ( Rat ) 4 h
マンガン	= 9 g/kg ( Rat )	-	> 5.14 mg/L ( Rat ) 4 h
コバルト (合金)	= 550 mg/kg ( Rat )	> 2000 mg/kg (Rat)	> 10 mg/L ( Rat ) 1 h
銅	> 2000 mg/kg	> 2000 mg/kg	> 5.11 mg/L ( Rat ) 4 h

略語及び頭文字  
Rat: ラット

症状 アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手及び足の刺すような痛

み、めまい、意識もうろう、胸痛、筋肉痛又は潮紅が含まれる場合がある。咳及び／又は喘鳴、掻痒感、発疹、じんま疹。

## 製品情報

### 経口

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。「吸入」の項目に記載されている追加的影響を生じるおそれ。

### 吸入

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。(成分に基づく)。

### 皮膚

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。反復又は長期にわたるばく露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある。内容物/容器は、承認された焼却設備で処分する。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。

### 眼接触

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

### 皮膚腐食性／刺激性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

#### 鉄 (7439-89-6)

方法	種	ばく露経路	有効量	ばく露時間	結果
OECD試験番号404：急性皮膚刺激／腐食性	ウサギ	経皮		1時間	非刺激性

#### クロム (7440-47-3)

方法	種	ばく露経路	有効量	ばく露時間	結果
					データなし

#### ニッケル (7440-02-0)

方法	種	ばく露経路	有効量	ばく露時間	結果
	ウサギ	経皮		4時間	非刺激性

#### モリブデン (7439-98-7)

方法	種	ばく露経路	有効量	ばく露時間	結果
OECD試験番号404：急性皮膚刺激／腐食性	ウサギ	経皮		4時間	非刺激性

#### マンガン (7439-96-5)

方法	種	ばく露経路	有効量	ばく露時間	結果
					データなし

#### コバルト (合金) (7440-48-4)

方法	種	ばく露経路	有効量	ばく露時間	結果
OECD試験No. 439：in vitro皮膚刺激性：再生ヒト表皮試験法				0.25時間	非刺激性

#### 銅 (7440-50-8)

方法	種	ばく露経路	有効量	ばく露時間	結果
OECD試験番号404：急性皮膚刺激／腐食性	ウサギ	経皮		4時間	非刺激性

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

#### 鉄 (7439-89-6)

方法	種	ばく露経路	有効量	ばく露時間	結果
OECD試験番号405：急性眼刺激性／腐食性	ウサギ	眼			非刺激性

#### クロム (7440-47-3)

方法	種	ばく露経路	有効量	ばく露時間	結果
					データなし

#### ニッケル (7440-02-0)

方法	種	ばく露経路	有効量	ばく露時間	結果
OECD試験番号405：急性眼刺激性／腐食性	ウサギ	眼		48時間	非刺激性

## モリブデン (7439-98-7)

方法	種	ばく露経路	有効量	ばく露時間	結果
OECD試験番号405: 急性眼刺激性/腐食性	ウサギ	眼			眼に対する軽微な刺激性

## マンガン (7439-96-5)

方法	種	ばく露経路	有効量	ばく露時間	結果
					データなし

## コバルト (合金) (7440-48-4)

方法	種	ばく露経路	有効量	ばく露時間	結果
OECD 405	ウサギ	眼			刺激性

## 銅 (7440-50-8)

方法	種	ばく露経路	有効量	ばく露時間	結果
OECD試験番号405: 急性眼刺激性/腐食性	ウサギ	眼			眼に対する軽微な刺激性

**短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響**

**呼吸器感作性又は皮膚感作性** 吸入により感作を引き起こすことがある。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。

## 鉄 (7439-89-6)

方法	種	ばく露経路	結果
	モルモット	経皮	皮膚感作性でない

## クロム (7440-47-3)

方法	種	ばく露経路	結果
			データなし

## ニッケル (7440-02-0)

方法	種	ばく露経路	結果
	ヒトでの証拠	経皮	感作性

## モリブデン (7439-98-7)

方法	種	ばく露経路	結果
OECD試験番号406: 皮膚感作	モルモット	経皮	皮膚感作性でない

## マンガン (7439-96-5)

方法	種	ばく露経路	結果
			データなし

## コバルト (合金) (7440-48-4)

方法	種	ばく露経路	結果
OECD試験番号406: 皮膚感作	モルモット	経皮	感作性
	ヒトでの証拠	経皮	感作性
	ヒトでの証拠	吸入	感作性

## 銅 (7440-50-8)

方法	種	ばく露経路	結果
OECD試験番号406: 皮膚感作	モルモット	経皮	皮膚感作性でない

**生殖細胞変異原性**

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

## 鉄 (7439-89-6)

方法	種	結果
OECD試験番号471: 細菌復帰突然変異試験	in vitro	エームス試験において変異原性でない

## クロム (7440-47-3)

方法	種	結果
		データなし

## ニッケル (7440-02-0)

方法	種	結果
		データなし

## モリブデン (7439-98-7)

方法	種	結果
OECD試験番号471: 細菌復帰突然変異試験	in vitro	突然変異誘発性でない
OECD試験No. 474: 哺乳類赤血球小核試験	in vivo	突然変異誘発性でない

## マンガン (7439-96-5)

方法	種	結果
		データなし

## コバルト (合金) (7440-48-4)

方法	種	結果
OECD試験番号471: 細菌復帰突然変異試験	in vitro	エームス試験において変異原性でない
OECD試験No. 474: 哺乳類赤血球小核試験	in vivo	動物実験において変異原性作用を示さなかった

## 銅 (7440-50-8)

方法	種	結果
OECD試験番号471: 細菌復帰突然変異試験	in vitro	突然変異誘発性でない

## 発がん性

発がん性が知られている又は発がん性が疑われる物質を含んでいる。成分に対して利用可能なデータに基づく分類。発がんのおそれ。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学名又は一般名	日本	IARC
クロム 7440-47-3		Group 3
ニッケル 7440-02-0	2	Group 2B
コバルト (合金) 7440-48-4	2	Group 2A

## 凡例

## 国際がん研究機関

グループ2A - ヒトに対する発がん性がおそらくある

グループ2B - ヒトに対する発がん性が疑われる

## 鉄 (7439-89-6)

方法	種	結果
		データなし

## クロム (7440-47-3)

方法	種	結果
		データなし

## ニッケル (7440-02-0)

方法	種	結果
		データなし

## モリブデン (7439-98-7)

方法	種	結果
		データなし

## マンガン (7439-96-5)

方法	種	結果
		データなし

## コバルト (合金) (7440-48-4)

方法	種	結果
OECD試験番号451: 発がん性試験	in vivo	発がん性

## 銅 (7440-50-8)

方法	種	結果
		データなし

## 生殖毒性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

## 鉄 (7439-89-6)

方法	種	結果
		データなし

## クロム (7440-47-3)

方法	種	結果
		データなし

## ニッケル (7440-02-0)

方法	種	結果
		データなし

## モリブデン (7439-98-7)

方法	種	結果
OECD試験番号416: 二世世代繁殖毒性試験	in vivo	分類できない
OECD試験番号414: 出産前発生毒性試験	in vivo	分類できない

## マンガン (7439-96-5)

## コバルト (合金) (7440-48-4)

方法	種	結果
		生殖毒素

## 銅 (7440-50-8)

方法	種	結果
		分類できない

## 標的臓器影響

肝臓. 腎臓. 呼吸器. 眼. 皮膚. 肺. 鼻腔.

## 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

## 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

## 誤えん有害性

この製品に関する情報なし。

## 他の有害影響

情報なし。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ。

### 残留性/分解性

生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

### 生体蓄積性

情報なし。

### 土壤中の移動性

情報なし。

### PBT及びvPvB評価

無機物質には関係しない

### 他の有害影響

情報なし。

## 13. 廃棄上の注意

**廃棄上の注意****製品の処分**

国内の適用環境法規制全てに従って処分する。

**包装の処分**

現地の規則に従って廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

IMDG : 規制対象外

IATA 規制対象外

日本 規制対象外

## 15. 適用法令

**該当製品に個別に適用される安全、保健及び環境規制****国内規制****労働安全衛生法****特定化学物質等(特化則)**

情報なし

**健康診断を要する有害物質**

健康診断 - 労働安全衛生法第66条、労働安全衛生法施行令第22条、及び特定化学物質等障害予防規則、別表第5

**労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度**

作業環境測定を行うべき作業場(労働安全衛生法施行令第21条及び作業環境評価基準 - 実行上の管理レベル)。詳細な仕様については、SDSの項目8を参照。

**消防法 :**

該当しない

**化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)**

該当しない

**海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律**

該当しない

**労働基準法**

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

**水質汚濁防止法**

水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第2条で定める有害物質

人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の3で定める指定物質

**下水道法**

下水道法第12条の2及び下水道法施行令第9条の4

**水道法**

水道法第4条、法定水質基準

水道法第4条、水質管理目標設定項目

水道法 - 要検討項目

**大気汚染防止法**

大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

**国際規制**

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

**国際インベントリー**

製品中のすべての構成要素は次の明細書の中にある

TSCA

適合する

EINECS/ELINCS	適合する
DSL/NDSL	適合する
PICCS	適合する
化審法インベントリ	適合する
IECSC	適合する
AICS	適合する
KECL	適合する

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリ  
 DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト  
 EINECS/ELINCS - European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances/EU List of Notified Chemical Substances  
 ENCS - 化審法既存物質  
 IECSC - 中国現有化学物質名録  
 KECL - 韓国既存化学物質目録  
 PICCS - フィリピン化学用品 化学物質インベントリ  
 AICS - オーストラリア化学物質インベントリ

## 16. その他の情報

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

EC50 ( - UVA): 半有効濃度 (EC50)  
 LC50: 半致死濃度  
 LD50: 半致死量  
 NOEC: 無影響確認濃度  
 OEL: 職業上のばく露限界  
 PBT: 持続性、生体蓄積性、毒性の化学物質  
 PNEC: 予測無影響濃度 (PNEC)  
 STEL: 短期ばく露限界  
 TWA: TWA - 時間加重平均  
 vPvB: 極めて持続性で、極めて生体蓄積性の化学物質

凡例 セクション8: 被曝管理/個人保護

TWA:	TWA - 時間加重平均	Ceiling:	最大限界値
*	経皮吸収	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質 特定疾病対策庁 (ATSDR)  
 米国環境保護庁ChemViewデータベース  
 欧州化学品局  
 欧州食品安全機関 (EFSA)  
 EPA (米国環境保護庁)  
 急性ばく露ガイドラインレベル (AEGL)  
 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法  
 米国環境保護庁高生産量化学物質  
 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)  
 危険有害性物質データベース  
 国際統一化学情報データベース (IUCLID)  
 日本政府によるGHS分類  
 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構 (NICNAS)  
 NIOSH (米国労働安全衛生研究所)  
 米国医学図書館ChemID Plus (NLM CIP)  
 米国医学図書館のPubMedデータベース (NLM PubMed)  
 米国国家毒性プログラム (NTP)  
 ニュージーランド化学物質分類 情報データベース (CCID)  
 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書  
 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム  
 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット  
 世界保健機構

発行日 19-7-2023  
 改訂記録 情報なし  
 この安全データシートは、日本の法律に従い作られている。  
 日本 - GHS分類

end